

第116回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	現 金 過 不 足	当 座 預 金	受 取 手 形
売 掛 金	未 収 入 金	前 払 金	建 物
有 価 証 券	支 払 手 形	買 掛 金	仮 受 金
貸 倒 引 当 金	前 受 金	未 払 金	売 上
受 取 家 賃	雑 益	固 定 資 産 売 却 益	有 価 証 券 売 却 益
貸 倒 損 失	有 価 証 券 売 却 損	雑 損	貸 倒 引 当 金 繰 入
消 耗 品 費	交 通 費	減 価 償 却 費	支 払 手 数 料

- 小笠原商店へ商品 ¥ 400,000 を売り渡し、代金のうち ¥ 250,000 については、村上商店振出・小笠原商店宛の約束手形を裏書譲渡され、残額については月末に受け取ることにした。なお、小笠原商店負担の発送運賃 ¥ 8,000 については、小切手を振り出して立替払いした。
- 営業用の建物を ¥ 5,000,000 で購入し、代金は当月末に支払うこととした。なお、仲介手数料 ¥ 100,000 については、小切手を振り出して支払った。
- 前月末に得意先より ¥ 300,000 が当座預金口座に振り込まれたが、その内容が不明であったため仮受金として処理していたが、本日得意先から連絡が入り、その内訳が売掛金の回収額 ¥ 200,000 と、注文を受けた商品 ¥ 400,000 に対する内金 ¥ 100,000 であることが判明した。
- 前期に生じた売掛金 ¥ 300,000 が得意先の倒産により回収できなくなったため、貸倒れとして処理する。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 250,000 である。
- 当期中に取得した直江工業株式会社の株式 10,000 株（1株当たり購入単価 ¥ 500、その他に購入時に証券会社へ支払った手数料は総額で ¥ 30,000）のうち、5,000株を1株につき ¥ 502 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。

・解答

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
1	受 取 手 形	250,000	売 上	400,000
	売 掛 金	158,000	当 座 預 金	8,000
2	建 物	5,100,000	未 払 金	5,000,000
			当 座 預 金	100,000
3	仮 受 金	300,000	売 掛 金	200,000
			前 受 金	100,000
4	貸 倒 引 当 金	250,000	売 掛 金	300,000
	貸 倒 損 失	50,000		
5	未 収 入 金	2,510,000	有 価 証 券	2,515,000
	有 価 証 券 売 却 損	5,000		